

あいのわ

■発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会
理事長 橋本 弘

■連絡先
〒121-0012 東京都足立区青井4丁目30番5号
TEL:03-3849-1188 FAX: 03-3849-7001
URL <http://www.ainowa.or.jp/>

■印刷・作成
足立区大谷田就労支援センター

足立あかしあ園 綾瀬あかしあ園 舎人あかしあ園 神明障がい福祉施設 足立区大谷田障がい福祉施設 竹の塚あかしあの家 あいのわ支援センター あいのわ相談センター

地 域 交 流 会



舎人あかしあ園



竹の塚あかしあの家



綾瀬あかしあ園



神明障がい福祉施設

平成30年度・評議員会・理事会報告

理事長 橋本 弘

本年度は、新しい事業として就労定着支援・居宅介護支援（介護保険法）を開始するため、必要な定款変更と規程整備を行いました。また、新たに事務局長を任命するとともに、理事に選任して頂きました。足立区の花畑地区生活介護施設公募において当法人が選任されましたので、2021年4月の開設に向けて新たな体制で力を尽くしてまいります。

当法人は、社会福祉法人としての公益的活動をさらに充実していくために、昨年12月に「地域における公益的活動」基本方針を定めました。今年度はこれに基づき足立区社会福祉協議会をはじめとする他の社会福祉法人や地域の団体と連携し、さらに地域で価値のある法人となれるよう公益的活動を推進してまいります。

第一回理事会報告

日時 平成30年6月5日 午前10時

議案

- 1号議案 平成29年度事業報告・決算報告（案）
- 2号議案 定款変更
- 3号議案 規程（管理運営規則）制定
- 4号議案 施設長級（事務局長）人事
- 5号議案 第13期理事の追加選任（案）
- 6号議案 定時評議員会開催

定時評議員会報告

日時 平成30年6月21日 午前10時

議案

- 1号議案 平成29年度事業報告・決算報告
- 2号議案 定款変更
- 3号議案 第13期理事の追加選任

竹の塚あかしあの杜 地域交流会



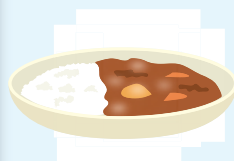
厳しい暑さが続いていますが、お変わりなくお過ごしでしょうか？

猛暑の合間の風が吹く 7 月 26 日に地域交流行事を開催致しました。

今回は地域の子供たちに竹の塚あかしあの杜を知って頂く事を目的に『体験・工作の杜』夏休みの一日と一緒にすごそうというテーマで小学生の工作と体験として「パステルシャインアート」「ハーバリウム」・「惑星づくり」を行いました。また、お楽しみ屋台としてゲーム、カレーライスや焼きそば等の販売をしました。他、後援会の方々にも特産品の販売等で行事に参加して頂きました。子供たちは集中して色とりどりの作品を作り、笑顔で持ち帰る姿を見て元気を頂きました。

希望した利用者の方は、施設前のテントブースで自主生産品の販売の売り子やスタンプラリーのクイズの出題を行い、お客様との時間を過ごしていらっしやいました。

当日はお忙しい中、多くのボランティアの皆様にお力を貸して頂き、無事に一日を終える事が出来ました。地域との交流を図る行事が、地域の方々によって支えられていることも忘れてはならないと思います。職員一同、皆様から頂いた元気で厳しい残暑を乗り切っていきたいと思ひます。



（谷内記）

神明障がい福祉施設 地域交流会



7 月 26 日に「神明 de 工作 2018」をテーマに地域交流会を開催しました。

夏休みの子供たちへ楽しい時間を過ごしてもらい施設を身近に感じてもらう事を目的に実施してきました。地域の町会や施設へチラシ・ポスター掲示のご協力を頂きまして、当日はたくさんの子供たちや親子連れが参加していただきました。

工作教室の内容は、家庭に持ち帰り楽しんでもらえるように手作りバスボム、ペットボトルを使った空気砲や紙粘土工作を思い思いで飾り付けを行いました。自分だけのオリジナル作品が出来た時には沢山の子供たちが喜んでいました。また、かき氷や生グレープジュースを提供し多くの子供が笑顔で、「また、いきたい」や「もっとやりたい」などの感想を頂きました。

神明地域の子供や親子が気軽に足を運んで頂ける場所として、地域との繋がりをより充実させて行きます。

下半期も広い層の地域の方々へ施設に関心を持っていただけるよう、季節に合わせたイベントを予定しています。

（小野沢記）



舎人あかしあ園 地域交流会



8月3日（金）地域交流会「舎人庵」が行われ

ました。今回は施設に葛西臨海水族園の移動水族館がやってきました。トラックの水槽の中にはキラキラ宝石のような色鮮やかな熱帯魚たち、ふれあいコーナーにはウニ、なまこ、ヒトデ、カニ、ヤドカリなどのかわいい海の生き物たちが来てくれました。水族館のスタッフの丁寧な説明を受けながら、地域の子供たちも興味津々、利用者の方々も手の平になまこやヒトデをのせたり、じつと優雅に泳ぐ熱帯魚を眺めながら、各々がゆつくりと和やかな時間を過ごすことができました。また、西伊興ひまわり園さんが自主生産商品・ドライフルーツを販売して下さいました。夏のフルーツ（キウイ、スイカ、パイナップルの甘みと酸味がぎゅっと凝縮されており、来場客にも人気の商品でした。手作りパンもあつという間に完売してしまいました。

地域の皆様と楽しいひとときを共に過ごすことができ、舎人あかしあ園がまた一歩、地域の中に溶け込めたように感じました。ご協力をいただきました町会の皆様、学校、水族園、関係機関の方々、お力を貸して下さい感謝申し上げます。今後も力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。



（阿部記）

綾瀬あかしあ園 地域交流会



平成30年8月24日（金）に本年度2回目の

地域交流会を開催しました。今回の地域交流会はBグループが企画をしており、自主生産活動で作製しているクラフトテープを使用したカゴ作り体験、かき氷、ヨーヨー釣りを行いました。利用者の方々は近隣の小学校や施設にチラシを配る宣伝活動から、当日の材料費徴収やカゴ作りの補助、かき氷の注文を受けることで参加者と交流を深めました。地域の方々は親子で参加していただいたり、他法人の利用者の方々もお越しいただいたり賑やかな交流会となりました。カゴ作りに参加された方からの「思ったよりも難しいですね」との声に「頑張つてね」と利用者の方が応援をする様子もありました。子どもや大人、高齢の方とたくさんの方が訪れ、利用者の方とふれあい、みなさんに楽しんでいただくことができました。

次回は12月に地域交流会を予定していますので、さらにたくさんの方と楽しく交流が深められるよう企画していきます。

（酒井 記）



後援会総会について

総会式次第



総会式次第



後援会とは、法人運営の様々な場面でご支援ご協力いただき、大変感謝しております。我々は、この様な心強い応援や期待をしつかりと受け止めて、利用者の方々がいままで住み慣れた地域で明るく楽しく生活が送れるよう、地域に求められる役割を精一杯果たす努力をしていきます。今後も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。（照井記）

平成30年6月19日（火）足立あかしあ園にて後援会総会を開催致しました。平成29年度事業報告・決算報告から監査報告に審議・承認後は、本年度の役員や事業計画・予算案等も審議・承認され滞りなく執り行う事ができました。最後に、平成29年度、特に功労のあった個人・団体の方々へ会長の秋山氏より感謝状と記念品の贈呈が行われました。休憩をはさみ記念講演が行われ、足立区 子どもの貧困対策担当課長 山根晃氏に「未来へつながらるあだちプロジェクト」と題して、記念講演をしていただきました。足立区の子どもの貧困対策は、経済的な困窮の多いイメージを抱きましたが、それだけではなく社会的な孤立や健康上の課題などが合わさった複合的な課題もあると認識しました。子どもの未来のために、あだちプロジェクト3本柱「教育」「健康」「推進体制の構築」を中心に、貧困を断ち切っていく、まずは各関係機関との強い繋がりが大切になりますので、法人としても更に関係性の構築を重要視した活動をしていかなければならないと感じました。

新事務局長・理事紹介



このたび7月1日付で法人内理事、並びに事務局長に就任させて頂きましたので、ご挨拶申し上げます。

私は、平成14年度にあいのわ福祉会に入職して現在17年目となります。この在職期間だけでも社会福祉法、報酬制度、会計基準等の法制度が改正され、社会福祉法人を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。変革期ともよべるこの時期の就任に責任の重大さを感じていますが、法人理念に沿い、ご利用者の皆様が住み慣れたこの地域で安心して暮らし続けられるよう、お一人おひとりの声に真摯に向き合い共に、法人のこれまでの歴史と諸先輩方の思いを引き継いで法人運営に携わりたいと考えております。また、法人の永続的な発展は職員の成長と共にあります。ご利用者の直接支援にあたる職員にとり、働き甲斐を持ち、長く勤め続けられる職場環境づくりを進めるこそ事務局長としての責務であると強く認識しております。もとより、甚だ未熟で経験も浅く、大変身に余る重責ですが、法人の発展、繁栄のため誠心誠意努力する所存ですので、皆様のご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。（佐野佑）

花畑三丁目通所施設計画

足立区の障がい者通所施設整備計画方針に基づく創設事業である花畑三丁目の通所施設（生活介護・定員40名）について、足立区の公募により当法人に優先協定締結事業者第一位のご指名を頂き、施設整備・運営事業者として基本協定書の締結を致しました。今後は、地域の方々への説明を丁寧に実施していくと共に、障害者（児）施設整備補助申請を進め、2021年4月の開設を目指して準備を行います。

本事業につきましては、重度の障がいがある方が安心・安全に施設を利用できるよう、これまでの施設建設で培ったものを最大限活用し、人的資源だけでは行き届かない支援や防犯のための設備を充実させる計画となっています。また、地域の方々と交流できるスペースを広く設け、有事の際の第二次避難所（福祉避難所）としての機能も盛り込んでいます。

利用者の方々にとってはもちろんのこと、地域の方々とともにこの地域になくならない施設であると信頼を得られるよう法人一丸となって進めてまいります。建設地・東京都足立区花畑三丁目16番20（東武バス花畑三丁目より徒歩1分）

投稿欄（俳句・川柳など募集中です）

万緑の谷に真つ赤なアーチ橋

秋山 啓司

この一句

「響爽かいただきますという言葉」 中村 草田男
いただきます、すみません、ありがとうございませなどの言葉は誰れでも日常的に使っていますが、響きもよいし、よく使われている人からは好感と爽やかな感じを受けます。（秋山）

後援会だより

平成30年4月〜平成30年8月 敬称略・順不同

一般会員・団体会員（103名）

足立あかしあ園保護者会、西村文雄、高島節郎、大谷田就孝、多田孝一、保護者有志、秋山啓司、神明福祉会保護者、萩原邦男、大野守幸、上村耕一郎、重田久美子、西野和彦、柳沼卓造、小金井堅治、滝本下子、平田敏光、小川英二、岩澤明美、横山勇雄、猪狩航大、吉澤国夫、長谷川好子、木下美代子、今井誠、石鍋達也、横山京子、三田昭夫、青木武夫、羽子田はるみ、佐々木直幸、須賀賢一、長谷川浩司、谷口成子、奥原由里、田中誠、小澤隆典、若林登紀子、野口直俊、鶴田あけみ、国府田智子、津久井宗平、根雅人、稲場和子、山口圭蔵、山本賢友、澤雅史、比呂間ちづ子、伊藤ひとみ、菊地敬、岡田健太郎、飯嶋哲也、青井第一自治会、山野正雄、足立西加平郵便局、湯井伸一、久保田博

特別会員（101名）

綾瀬あかしあ園保護者、竹の塚あかしあ園の社ぞみ保護者、足立あかしあ園保護者、土屋知子、あかしあ園保護者、神明福祉会保護者、渡邊正人、神野敏夫、安田良雄、柳本知子、橋本睦子、河Aフラッグ、高橋修、佐々木健、中川美知子、松原英子、無記名、青井第四自治会、日商岩井建設会、鈴木和子、青井三丁目自治会、トープラ販売、関サンパルクス、大谷勝（寄附）植松君恵、開啓福祉ネットワーク、無記名、小川弘子、肥後留太郎、東京西新井ライオンズクラブ、大塚友美、くるみ会、綾瀬あかしあ園保護者会、匿名

後援会加入のおねがい

当法人の事業及び通所施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入をご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局（電話：3849） 1188まで

編集後記

平成30年度2号目の「あいのわ」をお届けします。今年の夏は、記録的な猛暑・豪雨など自然災害に見舞われた年でした。法人としても「全国社会福祉協議会の義援金窓口」より義援金を送らせていただきました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。（市原記）